

平成 26 年 12 月 25 日

国交省横浜国道事務所長殿
東日本高速道路㈱横浜工事所長殿
横浜市道路局長殿

横浜環状道路（圏央道）対策連絡協議会
会長 比留間哲生

12 月 9 日質問・回答会議における懸案事項に係る追加質問について

12 月 9 日の会議において貴職関係者からの回答・説明内容に際して、下記に示す新たに質問並びに回答要請等について本書でもって追加質問書として提出します。

[記]

1. 事業申請書における釜利谷 JCT に至る部分の車線数について
 - ①平成 24 年 12 月の事業評価監視委員会における横環南線の計画交通量 60,600 台/日における釜利谷 JCT 内の本線の計画交通量値、並びに横浜横須賀道路への計画交通量値（横浜方面及び横須賀方面内訳を含む）
 - ②事業認定申請書における横浜横須賀道路への計画交通量 27,400 台/日における横浜方面及び横須賀方面交通量値
 - ③高速道路計画における車線数を定める交通量の基準値
2. 桂台トンネルにおける非常駐車帯の扱いについて
 - ①非常駐車帯を造ることを国として決定していること（注：都市計画時から計画に含まれているとの説明有り）であり、それがない限りは供用することは出来ないことについての再確認。
3. 最大トンネルの実績調査について
 - ①わが国の最大トンネルの実績（手段を講じて調査の上での提示、世界最大トンネル実績を含む）
 - ②12 月 9 日会議における回答・説明内容（専門機関での調査内容とその結果）について、文書での提示（早急に、文書を事務局長宛て提出）
4. 桂台トンネル工事計画（離間距離 1 m、裏込め材を含むと 44 cm）に係る並行トンネルの施工実績

5. 横環南線の公田トンネルにおける朝日平和台地区における防空壕問題への対応計画
なお、本項目は12月9日会議時には時間等の関連から具体的に質問は出ていませんが、上郷公田線に関しては説明を受けましたが、横環南線について、関連として質問します。
6. 地盤沈下対策としての事前調査及び事後調査並びに補償に関する事業者としての方針の提示（横環南線、横浜湘南道路に係るこれまでの説明内容の確認調査を含む）
7. 小雀浄水場からの水道幹線の横環南線と交差部分、釜利谷トンネル以外の2箇所について、交差位置、水道幹線と横環南線との離隔間隔
8. 事業認定申請公告縦覧における意見書の事業認定庁における取扱いの調査結果（起業者との関連を含む）

以上